

6 単元計画 「長崎」から学び、考える ( 配当時間計 17 時間 )

題目( 配当時間 )	学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
(1) 「長崎」を知る ( 6 時間 )	長崎の地理 長崎県、長崎市の地理と地形 長崎の歴史 長崎開港～明治初までの歴史 近現代の長崎 まとめとテーマの設定 )長崎全般、)長崎と平和 )浦上とキリシタン )出島・新地と異国文化 )大浦・山手と開国 )雲仙・阿蘇と火山	ワークシートや地図で作業学習。 長崎年表を作成しながら、中央史とのかかわりで、長崎の歴史を概観。
(2) 「長崎」から学ぶ( 8 時間 )	テーマの選択とグループ分け、探究計画の立案 テーマの探究 テーマに関する情報を収集し、収集した情報を『情報整理票』で整理し、吟味・分析する。  探究のまとめ(『長崎案内記』の作成)と探究の報告会 社会見学旅行の学年事前学習会 フィールドワーク	情報収集の方法、仕事に分担や役割を確認させる。 『情報整理票』には、以下を記録する。 )収集のねらい )収集の方法と出所 )収集した情報 )情報の吟味と分析 )新たな疑問 『情報整理票』をチェックし、適宜探究の方向を軌道修正。 興味のわく、理解しやすい工夫を助言する。
(3) 「長崎」から考える( 3 時間 )	「地域」から世界の諸課題へ 「地域」探究の方法 「地域」からの歴史叙述	自分たちの探究を振り返り、自分たちの探究について学習する。

評価の観点と方法	教科学習とのつながり など
<p>観察による知識・思考の評価 長崎の地理と歴史に関する情報を習得し、長崎の個性に気づいたか 観察による関心・態度の評価 長崎に関心をもち、探究の意欲が出てきたか。</p> <p>『情報整理票』をもとに、思考・技能を以下の観点から評価。 的確な情報の効率的な収集。 収集した情報の正確さ。 情報の多面的な吟味・分析。</p> <p>『情報整理票』をもとに、関心・態度を以下の観点から評価。 意欲的な情報の収集。 意欲的で適切な情報の整理。</p> <p>『長崎案内記』をもとに、知識・表現を以下の観点から評価 論旨の明確さ。 興味や理解のための適切な工夫 十分に吟味・分析された内容。</p>	<p>&lt; 教科とのつながり &gt; * 教科から「総合的な学習」へ 「読図の技術」「自然環境から見た地域の特色をとらえる視点と方法」「都道府県規模の地域的特色をおさえる視点と方法」(以上、社会科地理) 「身近な地域の歴史を調べる」 (社会科歴史) * 「総合的な学習」から社会科歴史へ 「中央中心の通史に対する地方史の見方」</p> <p>* 教科から「総合的な学習」へ 「情報の収集・整理能力」(各教科) 「情報を吟味・分析する能力」 (各教科) 「自然や社会的事象への関心」 (社会科)</p> <p>「書くこと」(国語・LIFE ) 「資料の活用」(社会科) 「聞くこと」「話すこと」(国語) 「博物館・郷土資料館の活用」 (社会科)</p>